

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県立総合体育館		
所在地	広島市中区基町4番1号		
設置目的	体育その他一般の利用に供する		
施設・設備	大アリーナ, 小アリーナ, 武道場, 弓道場, 健康・体力サポートセンター, フィットネスプラザ, 会議室, スポーツ情報センター, 駐車場 等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(公財) 広島県教育事業団 (H25.4.1～)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財) 広島県教育事業団

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用状況	4期	R3	2,000,000人	488,932人	194,881人
R2			2,000,000人	294,051人	△1,396,912人	△1,705,949人 (14.7%)
R1			2,000,000人	1,690,963人	△264,628人	△309,037人 (84.5%)
3期平均 H26～H30		2,230,000人	1,955,591人	△64,727人	△274,409人 (87.7%)	
2期平均 H21～H25		1,940,000人	2,020,318人	380,802人	80,318人 (104.1%)	
1期平均 H18～H20		1,993,000人	1,639,516人	197,786人	△353,484人 (82.3%)	
H17 (導入前)		—	1,441,730人	—	—	
増減理由	<p>○ 令和3年度の利用者は、令和2年度に比較して194,881人増の488,932人となった。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため各行事の自粛・緊急事態宣言を受けての臨時休館及び利用人数制限等を行っていたのに対し、令和3年度は、閉館時間の変更(～20時)や、個人利用の制限等はあるものの、大規模イベントも開催できる状況となっている。</p> <p>○ アマチュアスポーツの全国大会は、Vプレミアリーグが約9,400人の集客があった。</p> <p>○ アマチュアスポーツ以外では、コンサート等11件(約140,000人)、展示会・集会等が8件(約19,000人)、Bリーグ公式戦(約7,500人)が開催された。</p>					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象・人数】
	自主事業開催時のアンケートの実施	行事参加者 約 600 人
	ボランティアスタッフのアンケート調査	事業参加者 20 人
	利用者意見箱の設置	施設利用者 7 件
	利用者アンケートの実施	施設利用者 125 件
	モニターへのアンケートの実施	公募モニター 20 人
	競技団体・マスコミ等と意見交換（運営協議会）	利用団体代表者 10 人
	【主な意見】	【その対応状況】
フィットネスプラザのスタジオ利用者から、他の利用者が不必要に覗いているので覗き防止等の対策をとって欲しいと申し出がある。（4/14）	フィットネスプラザのスタジオ入口の硝子面に目隠しシートを貼付した。（7/28）	
プールサイドにおいて、足を滑らせ転倒し骨折・裂傷する事象が多々起きているため、対策をして欲しいと申し出がある。（1/6）	プールサイドに滑り止め塗装を実施した。（3/4）	

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	○	従事職員の異動等
管理運営会議（12回・現地）	【特記事項等】 利用者の意見を取り入れた整備，改善		
現地調査（5月，7月，8月，9月，10月，11月，12月，3月に実施）	【指定管理者の意見】 施設設備の状況を把握し，修繕の優先度を提案。照明器具 LED 化実施（大アリーナ B1F 及び 1F 通路）。		
	【県の対応】 施設設備の計画的な修繕の実施		

5 県委託料の状況

（単位：千円）

県委託料 （決算額）	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 （決算額）	年度		金額	対前年度増減
	4期					4期			
	4期	R3	297,988	△133,575		4期	R3	254,675	132,153
		R2	431,563	278,017			R2	122,522	△296,929
		R1	153,546	18,685			R1	419,451	△49,452
	3期平均 H26～H30		134,861	15,085		3期平均 H26～H30		468,903	22,661
	2期平均 H21～H25		119,776	△27,350		2期平均 H21～H25		446,242	12,065
	1期平均 H18～H20		147,126	△265,212		1期平均 H18～H20		434,177	45,205
	H17（導入前）		412,338	—		H17（導入前）		388,972	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	○主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	297,988	431,563	△133,575	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う県からの委託料減
		料金収入	254,675	122,522	132,153	利用料金制(※1) プロスポーツ、コンサート等の大規模イベント開催による料金収入の増
		その他収入	31,826	19,868	11,958	県の利用料金減免負担の増 自動販売機手数料の増
		計(A)	584,489	573,953	10,536	
	支 出	人件費	68,690	72,908	△4,218	人数減のため(17人→16人)
		光熱水費	106,277	90,284	15,993	施設の稼働が上がったことによる増
		設備等保守点検費	137,098	129,301	7,797	維持管理委託料見直しによる増
		清掃・警備費等	193,176	181,234	11,942	施設の稼働が上がったことによる増
		施設維持修繕費	40,875	39,680	1,195	修繕費・備品購入費の増
		事務局費	23,164	20,211	2,953	施設の稼働が上がったことによる増
		その他	33,372	28,844	4,528	施設の稼働が上がったことによる増
		計(B)	602,652	562,462	40,190	
	収支①(A-B)	△18,163	11,491	△29,654		
	自主事業 (※2)	収 入(C)	18,945	22,849	△3,904	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自主事業中止のため
支 出(D)		37,056	31,883	5,173		
収支②(C-D)		△18,111	△9,034	△9,077		
合計収支(①+②)		△36,274	2,457	△38,731		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自主事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部休館等の制限を受け、中止が相次いだ。施設の利用再開については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を再確認するとともに利用者や職員の安全性を確保しつつ、業務運営に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初の計画通り自主事業を実施することが難しい状況の中、定時・臨時開催を合わせて3,087回(当初計画していた5,017回の59.4%)の実施となっている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	利用者ニーズに対応し、施設のトイレの洋式化工事(武道場, 弓道場全14ヶ所)及び照明器具LED化工事(大アリーナB1F及び1F通路)を計画的に実施した。 ホームページのリニューアルについては、3月末に完了し、より使いやすくスピーディな情報発信を心がけている。	利用者ニーズが高いトイレの洋式化を行うことで満足度の向上を図り、LED化によって省エネにも貢献するよう計画的に工事を行っている。 また、施設の魅力向上と、ホームページのリニューアルによる情報発信力の強化にも着手している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	施設利用は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閉館時間の変更(～20時)、個人利用や自主事業の制限等による影響があるが、少しずつ回復し、前年度と比べ194,881人増の488,932人となった。	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、施設の閉館や利用時間の制限はあったものの、令和2年度に比べ、利用者数が増加した。
	○施設の維持管理	維持管理については、毎月の修繕報告を行うとともに、小規模修繕工事については、緊急性が高いものから随時行うよう努めた。	施設全体の劣化箇所を把握し、緊急度合いにより優先度をつけ、計画的に修繕を実施している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	館長または館長補佐が交代勤務で駐在し、運営経験に即した適材適所の人材配置をし、協力企業も含めた全職員が新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を念頭に置き、危機事案等に迅速に対応できる体制を維持する管理運営を行った。	職員の配置、緊急時の連絡体制整備は、仕様書及び事業説明書に沿ってなされており、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応では、臨機応変に適切な対応をしている。
	○効率的な業務運営	無駄な電力消費を減らすためのトイレの人感センサーや照明器具LED化工事の拡充により引き続き管理経費やCO2排出量の削減を図った。	効率的な営業運営を行っている。
	○収支の適正	収支については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一部休館等の利用制限を受け、キャンセルが相次ぐ状況が続く、予定していた収入が見込めず財政的に大変厳しい状況が続いた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の大幅な減少に伴い、収入も大幅に減少し、財政的に厳しい状況が続いている。
総括		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限がある中で、令和2年3月から落ち込む収益や利用者数はなかなか元に戻らない状況であった。 引き続き、自主事業等での利用促進策やwithコロナでできることを積極的に実施して、新規の利用者獲得につながる運営を行っていきたい。	施設の維持管理について、適切に行われている。 利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に目標値を下回っているが、ホームページを新しくするなど情報発信に力をいれている。終息後の対策も踏まえ、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和4年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4期指定管理者としてこれまでの実施状況を検証するとともに、引き続き利用者数の回復に全力で取り組む。 ○ 提案書に沿った、LED照明、人感センサー、トイレの洋式化等を段階的に実施する。 ○ 令和4年4月からQRコード決済(JPQR)の導入を始める。当面、フィットネスプラザの個人利用から導入し、券売機の機種変更時に他施設の個人利用にも対応できるよう検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染予防対策を講じて、利用者が安全・安心に運動・スポーツを実施できる環境づくりに取り組むことで、利用者数の回復に努める。 ○ LED照明、人感センサーの導入によって省エネにつなげるとともに、利用者ニーズが高いトイレの洋式化を段階的に進める。 ○ キャッシュレス決済をフィットネスプラザに導入し、利用者の利便性の向上や感染防止を図っていく。更に、利用範囲を拡大するよう検討を行っていく。
<p>中期的な対応</p>	<p>経年劣化が著しい設備関係の修繕計画と実施に向けて継続的に取り組む。</p>	<p>施設の保全並びに機能維持と利用者の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図るため、利用者のニーズや安全性等による優先度に応じて計画的に施設設備の改修を実施する。</p>